

行政改革推進プランの取組事項

1. 事業の見直し

No.	実施項目	推進期間中の取組・方向性	実施年度					主管課
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
			数値目標・成果指標					
I	こども園基本計画に基づくこども園の開設	平成31年度に開園予定している「かたかいこども園Ⅱ」を現在の東保育所をベースに統合することで、建設費の圧縮を図る。 また、2幼稚園・4保育所を2園体制に再編することで、施設運営費や管理費の削減を図る。	千円 △5,345	千円 25,201	千円 △15,685	千円 △14,616	千円 △13,601	社会福祉課
			3施設	3施設	2施設	2施設	2施設	
		取組状況	進捗状況					
		平成31年度の開園に向けて、東保育所とかたかいこども園の統合を進めており、今年度は園舎増築工事に伴う設計委託業務や施工業者の選定を実施した。 来年度の取り組みとして、現場との連携をはかり予定通りの工事進捗に努める。 計画どおりに進んでいる	千円 -					
II	健診（検診）業務の一元化	現在2課で実施している健診（検診）事業を一元化し、それぞれの受診率の向上と歳出の圧縮を図る。	特定健診受診率 39.6%	特定健診受診率 40.6%	特定健診受診率 41.6%	特定健診受診率 42.6%	特定健診受診率 43.6%	住民課 健康福祉課
		取組状況	進捗状況					
		取り組みの結果、特定健診の受診率は41.3%(速報値)で前年比1.5%増見込みである。また、健診（検診）事業を健康福祉課に集約することで、保健師間の連携が強化され、健診（検診）後の事後指導も効果的に行われた。 来年度は、広域的な取り組みを検討する。 計画どおりに進んでいる	特定健診受診率 41.3%					

3. 財政運営の健全化

No.	実施項目	推進期間中の取組・方向性	実施年度					主管課
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
			数値目標・成果指標					
Ⅲ	公共施設整備のための基金造成	<p>既存基金の見直しを行い、計画的な積立を実施することで公債費負担を抑制し、財政運営の健全化を図る。</p>	計画的な基金の積立 検討	計画的な基金の積立 検討	計画的な基金の積立 実施	計画的な基金の積立 実施	計画的な基金の積立 実施	企画財政課
		取組状況	進捗状況					
		<p>12月議会に条例制定議案を上程し、基金条例を制定した。 来年度は基金への積立を検討する。</p> <p>計画どおりに進んでいる</p>	基金条例の制定					
Ⅳ	普通財産の利用・処分の推進	<p>現在未利用で、利用度及び事業効率が低い行政財産について、保有の必要性や民間への貸付、売却等を検討し、維持管理経費の削減を図る。 また、事業用代替地としての有効活用も図る。</p>	未利用財産の利用・処分 調査	未利用財産の利用・処分 推進・実施	未利用財産の利用・処分 推進・実施	未利用財産の利用・処分 推進・実施	未利用財産の利用・処分 推進・実施	企画財政課
		取組状況	進捗状況					
		<p>県指導の下、本町の所有する財産の売却を検討したが、費用対効果について疑義が生じている。 来年度は、事務手続きを確立するとともに、本町所有財産の売却可能性及び費用対効果を検証する。</p> <p>計画どおりに進んでいない</p>	未利用財産の利用・処分 調査					

No.	実施項目	推進期間中の取組・方向性	実施年度					主管課
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
			数値目標・成果指標					
V	公共施設等総合管理計画の推進	<p>町公共施設等総合管理計画を基本に、各施設や同類型ごとに長寿命化対策や統廃合の個別計画を策定し、維持管理費等の削減を図る。</p>	個別計画 施設の再利用 検討・実施	個別計画 施設の再利用 検討・実施	個別計画 施設の再利用 検討・実施	個別計画 施設の再利用 検討・実施	個別計画 施設の再利用 検討・実施	企画財政課
		取組状況	進捗状況					
		<ul style="list-style-type: none"> 個別計画 こども園計画に沿って、子育て支援施設の個別計画を策定した。 来年度も引き続き、個別施設計画策定に向けた会議の開催及び推進組織等を通じた啓発を行う。 施設の再利用 公共施設マネジメント組織で真亀川総合公園レストラン棟活用手法の検討、また、豊海保育所は関係課で事業手法の検討を行った。 来年度も引き続き、公共施設マネジメント組織での空き公共施設活用に向けた活用手法の検討及び確立を目指す。 <p>計画どおりに進んでいる</p>	個別計画 施設の再利用 検討・実施					

No.	実施項目	推進期間中の取組・方向性	実施年度					主管課
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
			数 値 目 標 ・ 成 果 指 標					
VI	ふるさと納税の推進	町内経済の活性化が図られるような町内特産品やサービスなどの特典を随時公募し、町のPR及び寄付金額の増加につなげ財源の確保を図る。	返礼品目の拡充 利用の呼び掛け	返礼品目の拡充 利用の呼び掛け	返礼品目の拡充 利用の呼び掛け	返礼品目の拡充 利用の呼び掛け	返礼品目の拡充 利用の呼び掛け	企画財政課
			実施	実施	実施	実施	実施	
		寄付金額	寄付金額	寄付金額	寄付金額	寄付金額		
		千円 2,900	千円 3,190	千円 3,509	千円 3,860	千円 4,246		
		取組状況	進捗状況					
		<ul style="list-style-type: none"> 返礼品目の拡充 新規返礼品10品目追加したほか、4事業者と継続協議中である。また、返礼率については、委託契約の見直しを行い3割以下とした。 利用の呼び掛け 観光PRと併せて、県内外の商業施設でふるさと納税のPR活動を実施した。 職員に対する研修 職員向けにふるさと納税に関する制度周知に併せて、寄付金の使い道に関するメニュー提案を募集した。 <p>来年度も、多くの方々から支援していただけよう。返礼品目の充実や魅力的な活用方法の提案募集などを計画しているほか、積極的にPR活動を展開していく。</p> <p>計画どおりに進んでいる</p>	返礼品目の拡充 利用の呼び掛け					
			寄付金額					
			千円 3,550 (12月末現在)					

No.	実施項目	推進期間中の取組・方向性	実施年度					主管課
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
			数値目標・成果指標					
Ⅶ	町税の徴収率向上	<p>徴収確保計画により実績に基づいた分析を行い、毎年度の目標徴収率を設定し、徴収率の向上を図るとともに徴収体制及び対策の強化に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 徴収体制と人材育成 適正な課税及び納税義務者の把握 自主納付の推進 徴収の管理 	徴収率向上対策 検討・実施	徴収率向上対策 検討・実施	徴収率向上対策 検討・実施	徴収率向上対策 検討・実施	徴収率向上対策 検討・実施	税務課
			徴収率 85.3%	徴収率 86.1%	徴収率 86.9%	徴収率 87.7%	徴収率 88.5%	
		取組状況	進捗状況					
		<p>徴収確保計画に基づき徴収対策の取り組みの強化を図った。</p> <p>徴収確保計画を策定した平成27年度と比較すると、12月末現在で徴収率68.15%に対し、70.79%であり、2.64%増加した。</p> <p>今年度の目標徴収率85.3%(1.61%増)は達成できる見込みである。 今後も引き続き、目標達成に向けて徴収対策強化に取り組む。</p> <p>計画どおりに進んでいる</p>	徴収率向上対策 検討・実施					

4. 外郭団体の健全な運営

No.	実施項目	推進期間中の取組・方向性	実施年度					主管課
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
			数値目標・成果指標					
Ⅷ	東千葉メディカルセンターの経営健全化	<p>中期計画を着実に達成させ、経営収支や資金収支の改善を図り、計画に即した負担金の支出とする。</p>	進捗管理	進捗管理	進捗管理	進捗管理	進捗管理	健康福祉課
			実施	実施	実施	実施	実施	
			一般会計繰出金	一般会計繰出金	一般会計繰出金	一般会計繰出金	一般会計繰出金	
		千円 177,048	千円 188,367	千円 190,728	千円 170,652	千円 170,452		
		取組状況		進捗状況				
		<p>救急車搬送受入患者数等、概ね計画どおりであるが、医業収益が大幅に見込を下回り、資金不足が生じるなど、厳しい病院運営を余儀なくされており、財政計画が計画どおり進んでいない。早期に安定した経営基盤を確立する必要がある。</p> <p>中期目標は10月に議会の承認を得ており、現在は、中期計画の策定を指示している。なお、中期計画については、2月に議会へ上程する予定である。</p> <p>今後、中期計画及び年度計画に掲げる目標に沿って経営の改善を目指す。</p> <p>計画どおりに進んでいない</p>	進捗管理					
			実施					
			一般会計繰出金					
			千円 177,014					

5. 組織の見直し

No.	実施項目	推進期間中の取組・方向性	実施年度					主管課
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
			数値目標・成果指標					
IX	効率的・効果的な組織体制の整備	<p>今後の行政運営や地方分権に対応した、簡素で効率的な行政サービスが提供できる組織を構築する。</p>	組織の見直し 検討・実施	組織の見直し 検討・実施	組織の見直し 検討・実施	組織の見直し 検討・実施	組織の見直し 検討・実施	総務課
		取組状況	進捗状況					
		<p>行政サービスを提供している役場の各課のあり方、体制については、必要に応じて見直しを図っているが、現体制は、前行政改革大綱における集中改革プランの実施に合わせて見直しを図ったものであり、既に10年以上経過していることから、今後の行政課題や地方分権による権限移譲に対応できる、簡素で計画的な行政サービスが提供できるよう計画的な見直しが必要である。</p> <p>今年度の取組として、現状の組織・体制で行政サービス提供における課題等について、各課からヒアリングを実施した。</p> <p>来年度は、行政サービス提供のあり方や他課との連携、効率的な組織のあり方について、各課に検討を願い、それを基に事務改善委員会で検討を進める。</p> <p>計画どおりに進んでいる</p>	組織の見直し 検討・実施					

6. 職員数の適正化と多様な人材の活用

No.	実施項目	推進期間中の取組・方向性	実施年度					主管課	
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度		
			数値目標・成果指標						
X	定員管理計画に基づく定員管理	<p>地方分権改革に伴う権限移譲、さらには住民ニーズの複雑化・多様化に伴い業務量が増加していることを踏まえ、定員管理計画の見直しを行い、適正な定員管理を図る。</p>	定員管理計画 見直し・実施	定員管理計画 実施	定員管理計画 実施	定員管理計画 見直し・実施	定員管理計画 実施	総務課	
			職員数 158人	職員数 158人	職員数 158人	職員数 158人	職員数 158人		
			取組状況		進捗状況				
		<p>行政組織の職員数は、人口規模における行政サービスの業務の遂行に適した数である必要がある。しかし、必要があるからと言って、多くの職員を採用しては、人件費が住民サービス提供の財源を圧迫しかねない。</p> <p>そのため、業務のあり方を検証し、各課の人員配置を検討する。さらには退職者に状況を踏まえ、長期的な展望からの職員採用を行うなど、計画的な定員管理を行う必要がある。</p> <p>そこで、長期的計画である定員管理計画の見直しを行い、適正な職員数を維持できるよう取り組んだ。</p> <p>来年度以降も計画的な職員数の適正化に取り組んでいく。</p> <p>計画どおりに進んでいる</p>	定員管理計画 見直し・実施						
	職員数 148人								

8. 職員の意欲・能力を引き出す環境づくり

No.	実施項目	推進期間中の取組・方向性	実施年度					主管課
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
			数値目標・成果指標					
XI	事務処理マニュアルの整備	<p>複雑化・多様化する住民ニーズに対応し、正確で等質なサービスを提供することにより、不適切な事務処理を防止し、事務の効率化・迅速化を図る。</p>	事務マニュアル 再整備・活用	事務マニュアル 活用・点検	事務マニュアル 活用・点検	事務マニュアル 活用・点検	事務マニュアル 活用・点検	総務課
		取組状況	進捗状況					
		<p>適正な行政サービスを提供するために事務処理マニュアルを整備し業務に活用する。</p> <p>今年度は、ISO実施時に整備し、活用していたマニュアル（業務手順書）を再度、点検、見直し整備を働きかけた。</p> <p>来年度以降も引き続き、制度改正時のマニュアル改正や事務処理の平準化及び効率化を進めていく。</p> <p>計画どおりに進んでいる</p>	事務マニュアル 再整備・活用					